

集団的自衛権の行使に向けて、長官を変えて解釈を変える

第九十九条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

副総理の麻生太郎元首相が憲法問題に関して「憲法は、ある日気づいたら、ワイマール憲法が変わって、ナチス憲法に変わっていたんですよ。だれも気づかないで変わった。あの手口学んだらどうかね」と発言しています。安倍首相は集団自衛権行使の憲法解釈の変更をめぐって、容認派の小松一郎駐仏大使を強引に法制局長官に決定しました。また、同盟国に対する武力攻撃への対応以外に、中東からのエネルギー輸送のためのシーレーンの安全確保など、「日本の安全に重大な影響を及ぼす事態」を含める方針で「地理的な概念で『地球の裏側』（は除外する）という考え方はしない」といい、憲法解釈見直しの議論について「具体的な例に即して国民的な理解を得る努力をしたい。公明党の理解を得るための議論も進めていく」とも述べました。内閣が勝手に従来解釈を変えるのは憲法違反です。

オスプレイの横田基地配備検討との報道で、市に要請

7月30日のオスプレイの横田基地配備を検討中の報道を受けて、あきる野9条の会は8月2日、あきる野市への緊急の要請行動を市民に呼びかけました。要請行動には短期間にもかかわらず、市民約50名が参加しました。参加者は、「国に対してオスプレイの配備反対を申し入れること。担当部署を設け情報収集と対策にあたること、情報を市民に公開すること」を要請するとともに「市内上空での米軍機の飛行訓練はやめてほしい」「今でも爆音でテレビの音声も聞き取れない状況なのに、とんでもない」などと口々に訴えました。対応したあきる野市の尾崎喜己企画制作部長は「あきる野市としても日本政府に対して配備検討の中止を求めていくことを今日にも国に要請したい。情報公開もしていく」と答えました。(写真は市に要請する参加者)



速報! 市議会がオスプレイ配備の検討の撤回を求める意見書を採択

あきる野市議会は9月定例議会の最終日の26日に、防衛省と北関東防衛局宛の「米軍横田基地へのCV22オスプレイ配備検討の撤回を求める意見書」を全会派一致で採択しました。

さよなら原発～にしたま～が第13回集会



さよなら原発～にしたま～は8月25日、第13回集会を行い、ちくりん舎副理事長の青木一政さんが「市民による放射能測定活動と被ばく低減のとりくみ」と題して講演しました。「東電福島原発事故発生から間もなく米国の反核団体から届いた放射能測定

器で測定を開始、福島市内の小中学校グラウンドがひどく汚染されていることを発見し、文部省と交渉を行った。尿検査で間接的に内部被ばくを測定できることがわかり、子どもの尿検査を実施、対象の10人全員から内部被ばくの実態が明らかとなった。広い範囲で尿検査を実施したところ、北は岩手県から南は千葉県までセシウムが検出された。継続した尿検査と食生活などライフスタイルの改善で内部被ばくの防止ができることが分かった」と話し「原発事故で魔物が堂々と姿を現し、私たちに牙をむいている」これとの日常的なたたかひが必要と訴えました。

新原爆と人間展に215人が参観

毎年8月に原水爆禁止あきる野協議会が開催している「原爆展」、今年は8月19日から23日まで市役所ロビーで行われ、215人が参観しました。新しく制作されたパネ

ルと広島市民が描いた原爆の絵が展示されました。「何回か拝見していますが、何度見ても胸がつぶされるような絵がいっぱいあります。今年、被爆者の山口仙二さんが亡くなられ、在りし日の山口さんの姿を見つけ、これまでのご苦労と、いまだに原爆もなくなる現実を思い、無念な思いであったろうと思います(以下略)」60代女性。「戦争は二度としてはいけません。国はもっと未来のことを考えるべきです。いつも子どもたちが二の次です。犠牲者はいつも子どもたちです」(30代女性)。などの感想が寄せられていました。(写真下は展示会場)



ニュース目「第九条」で「おもてなし」を 2020東京オリンピック

プレゼンテーションで口火をきった佐藤真海さんのスピーチは感動的だった。2020オリンピック東京開催が決まった。しかし、東北の人たち、とりわけ福島原発被害者に思いをいたして手放しで喜ぶことはできない。この間の政府と東電の対応からも「状況はコントロールされている。東京は安全」という安倍首相の言葉の空虚さにはいたたまれない。また、「東京は安全」は「福島は不安」と裏返しなのだ。また、プレゼンテーション45分間で、「平和」という言葉が全くなかったことは残念だ。直前に開かれたG20首脳会議でもオバマ米政権によるシリアへの軍事攻撃をめぐって、平和的手段による問題解決こそが国際世論という流れがつけられつつあった。地球上で戦火が消えていないとき、オリンピックの根本である「スポーツで平和な世界を構築する」ことを追求することの意義は大きい。「国際平和を誠実に希求し、(中略)国際紛争を解決する手段としては、永久にこれ(戦争)を放棄する」。この日本国憲法第九条こそオリンピックそのもの。「国防軍」をつくり「戦争が出来る国」に変えてしまう「自民党改憲草案」を撤廃して、九条をもつ国の首相としての「おもてなし」こそ、日本の首都東京のオリンピックではないだろうか。

高岡岑郷(九条の会東京連絡会事務局)

あきる野市民文化祭に参加します 11月2,3日に秋川体育館で展示

第19回あきる野市民まつり・市民文化祭が開催されます。会は今回も11月2,3日の秋川体育館での展示の部に出展します。テーマは活動報告で、五日市憲法やオスプレイ問題を取り上げる予定です。み

なさんの参観をお願いします。

新婦人は五日市憲法の講演会

市民文化祭の催し物には新日本婦人の会あきる野支部が次のように講演会を行います。

11月3日(日)10:00~12:00 中央公民館音楽室
テーマ「五日市憲法から学ぼう」

講師:鈴木富雄さん(郷土史研究家・会の呼びかけ人)

お知らせ

福生市民会館で「横田基地もいら ない10.12市民集会&デモ」

今年で4回目になる「横田基地もいらない! 沖縄とともに声を上げよう市民交流集会」が行われます。チラシ同封



10月12日(土)13:00~福生市民会館大ホール
講演「東京のオキナワ・横田基地」講師:前泊博盛さん(沖縄国際大学教授)、基調報告、デモ行進。

第2回三多摩平和交流会は11月4日

戦争を記憶し、三多摩から平和な未来を考えようと記念講演、シンポジウム、展示が行われます。

11月4日(月・休日)13:30~国分寺市立いずみホール
講演「いま、平和と憲法を考える」講師:早乙女勝元さん(作家、震災資料センター館長)、シンポジウム:郷土史家の古橋研一さん・弁護士の黒岩哲彦さん・国際問題研究家の新原昭治さんほか。参加費:700円 主催:同実行委員会。問合せ 042-536-2038 永元。

希望舞台公演「釈迦内枢唄」

11月9日に秋川キララホールで

水上勉作「釈迦内枢唄」は、死体焼き場を家業とする家族の生きる姿を描きながら、人のやさしさ、命のきらめき、いつくしみあふれる舞台をお届けします。是非、ご鑑賞ください。推薦:秋川仏教会、入場料:2,999円、主催:『千回公演』support in あきる野、問合せ:090-317-3653 山下。チラシ同封

事務局だより

- あきる野9条の会賛同署名 累計は1,035名
- 96条、9条「改正」反対署名 8月末で132筆集まりました。引き続きよろしくをお願いします。
- 九条の会東京連絡会「東京交流会」10/19、九条の会「第5回全国交流会」11/16が行われます。
- 定例サポーター会 次回第92回は10月10日午後3時から市役所1階で。どなたも参加できます。
- ブログでも情報を発信しています。

あきる野9条の会 検索でホームページを。A9ニュースがカラーで見られます。ブログ事務局だよりもクリックして見てください。最新情報を詳しく掲載しています。Eメールアドレスを登録していただければA9情報を送信します。

横田基地もいらない!!

10.12 市民交流集会

沖縄とともに
声を上げよう

10月12日(土)
福生市民会館
大ホール

入場無料

■午前の部 10:00開演
「流血の記録 砂川」(DVD)上映後
■午後の部 13:00開演
講演「東京のオキナワ 米軍横田基地」
・日米地位協定入門
講師 前泊 博盛さん

東京写真展第503回に京 横田基地撤去の呼びかけ行動 (2013/05/19) 横田基地の撤去を求める西多摩の武

横田基地もいらない!市民交流集会 実行委員会 連絡先 080-8721-7177

前泊 博盛さんのプロフィール

1960年生まれ。「地球新報」編集委員長を経て、沖縄国際大学大学院教授。2004年、「地位協定取材組」として、日本ジャーナリスト会議大賞、石橋湛山記念・早稲田ジャーナリズム大賞などを受賞。

■主な著書
「沖縄と米軍基地」(徳川書店)
「もっと知りたい!本当の沖縄」(岩波書店)
「横田地位協定 日米不平等の歴史」(義文研)
「日米地位協定入門」(鹿元社)

横田基地めぐりのご案内

首都東京にある巨大な米軍基地、横田。この機会に基地めぐりを体験してみませんか。見て、感じて、考えよう。



ご好評につき今回も実施します

Aグループ 午前10時出発
9:50集合

Bグループ 午前11時出発
10:50集合

■集合場所 市民会館ロビー

■定員 各グループ20名 合計40名

■参加費 1000円 先着順

■申込み先 週辺 042-555-7834
090-5502-6194

上映DVD

午前10時から お持ち帰りください

全身をふるわす驚きと怒りから
歓喜の声ゆるがすまで

流血の記録 砂川

編集 亀井 文夫
製作 日本ドキュメント・フィルム社
56分

スケジュール

■午前の部 (10:00) 開演
DVD上映・解説・意見交換

■午後の部 (13:00) 開演
①講演「東京のオキナワ 米軍横田基地」・日米地位協定入門
講師 前泊 博盛さん
②実行委員会の基調報告
③デモ行進

福生市民会館 TEL 042-562-1711




東京のオキナワ 米軍横田基地

米軍基地の根拠となる「日米安保条約」と「憲法九条」はあきらかに矛盾しています。矛盾を率直に表現したものが、駐留米軍は憲法違反との「伊達判決」でした。矛盾した現実を国民の眼から覆い隠すために、本土の基地を沖縄に次々と無理やり移駐させたと、多くの人が考えてきました。たしかにそうだったのでしょうか。でも、日常の暮らしの中ではつい忘れがちですが、首都圏には横田や厚木、横須賀などの米軍の主要な巨大基地があります。私たちの暮らしに隣接する『横田基地』、航空写真でご覧いただくと明白

ですが、周囲の人口密度は沖縄の普天間と変わりません。ここもまた、「世界一危険な飛行場」です。さらに横田基地南端近くにある拝島第二小学校すれすれに、米軍機が毎日かすめ飛んでいます。この状況も、普天間第二小学校と同じです。東京にくらす人、近隣の私たちさえも知らない事実や危険性がたくさんあるのです。占領期と同じように日本に米軍を配備し続けるための取り決め、「日米地位協定」を学びながら、基地があると自分たちの暮らしにどのような影響や問題が起きてくるのか、前泊 博盛さんに解説していただきます。

どうかみなさん、今年の秋10月12日は横田に集まってください。基地はいらない!と、沖縄とともに声を上げましょう。

劇団希望舞台

しやかないひつぎうた

秋川内町火葬場

演出 水上勉
作 米倉 齊加年

花は死んだものの顔だや...



ふじ子・有馬 理恵

コスモス画・荒木 幸史 題字・武田 昭龍

企画・由井 敦 演出助手・上野 日呂登 音楽・川本 哲 美術・福永 朝子 効果・余田 崇徳 舞台監督・高橋 康孝 劇場制作・玉井 徳子

2013年11月9日(土) 開場pm1:30 開演pm2:00
秋川キララホール

上演時間：1時間30分
JR五日市線秋川駅
北口下車・徒歩5分
tel.042-559-7500

入場料 一般 2,999円
高校生以下 障がい者手帳をお持ちの方 1,500円

お問い合わせ
0493-81-3813 希望舞台 HP/ 検索-希望舞台
090-3317-3653 山下 090-5539-0445 華房
e-mail : kitty-house@fancy.ocn.ne.jp

チケット予約購入
郵便振替 記号番号:00190-9-418704
口座名義: 秋川内町あきる野
《受領証》を当日受付へお持ちください

主催 『千回公演』 support in あきる野 後援 あきる野市 あきる野市教育委員会 推薦 全日本仏教会 東京都仏教連合会 秋川仏教会



ふるえるような怒りの奥底に
すがるようないのちの願いがあった

有馬 理恵
高校時代は演劇部で活動。卒業後は、俳優、演出家として活動。2009年、希望舞台の『秋川内町火葬場』の演出に立ち、

秋川内町は秋田県花岡郡山が近くに
あった在野の地帯
その地で代々つづいた死体焼く場の家業を引き継ぐことになった末娘ふじ子の物語。その仕事ゆえに思われ、蔑まれる

『秋川内町の火葬場』は創作上の設定—
秋川内町は昭和23~26年、周辺町村と大館市に合併。
当時、火葬場は都市部にしか存在しない。舞台に出てくる火葬場は創作上の設定。

希望舞台の仕事
私たちは、誰にでも親しまれる「現代の芝居」を求めて日本中を歩きます。身近な生活に題材を求め、日本人の笑いと涙、生きつづけていきたいと思つてのことへの生命をうたいたい。公演に必要なすべての仕事を劇団員全員で協力してやっています。

2001年長野市公演を観劇して下さった水上勉さん。楽屋で出演者たちに「日本人がしなくてはならない仕事」と言葉を確かめるように語られ、「全国千回公演を目指して下さい」と励ましを頂きました。

千回公演を目指して

舞台上で使用される用語と秋田県の方言
オンボ(隠亡) 人の遺骸の埋葬(土の中に埋める)や火葬を職業にしている人。死の扱いは本来、尊ばれる仕事でもあるにも関わらず、日本では古来から死を穢れ忌み嫌う結果、死体を扱う人を全く逆の差別的に呼ぶ言葉となった。

- わ(吾) 私、わたし、俺
- おど(お父) お父さん、父親
- おが(お母) お母さん、母親
- まま(食) ご飯を食べる
- じゃんこ 銭っこ、お金
- わらし 子供
- がん(おけ) 棺桶、かんおけ
- あね(お) 姉さん、おねえさん

